

ひまわり
理学療法士の
ひとりごと

図 ひまわり発達相談センター
☎047(451)2922

理学療法士は運動療法や物理療法などを用いて、
自立した日常生活が送れるよう支援する専門職です。

ベビーカーに乗る子ども編

「え、こんなに大きな子が
ベビーカー？」
実は、次のような理由で
乗っている場合があるのを
ご存じですか？

- 筋力の弱さや麻痺があり、
歩くことが不自由
- 基礎疾患があり、長距離・
長時間の移動が難しい
- 子どもの不安が強い
- 保護者の体調不良 など

また、一見するとベビーカーのように見えても、子
ども用車いすを使用している場合があります。形状
はとても似ていますが、車いすは折りたたむことが
できず、重量もあります。

まちで見かけたら、そっと見守りましょう。困っ
ている様子があれば、声を掛けてみましょう。

▲ 広報習志野(令和5年7月15日号)

ひまわり
心理判定員の
ひとりごと

図 ひまわり発達相談センター
☎047(451)2922

心理判定員は認知、言語、
社会性などの発達の状況に
応じた相談、評価などを行
う専門職です。

走り回る子ども編

お店や道路などで走り回る幼い子どもを
見掛けると、「危ない！親は何をしているの
かな？」と思ってしまいますよね？

子どもは興味・関心のあるものに反応し
て行動します。徐々に周りを意識して行動で
きるようになることが多いのですが、中には
「気になるところに行きたい気持ちが過度
に強い」、「手を繋ぐ感覚が苦手」など、さま
ざまな理由で周囲が困るほどに動いてしま
う子どもがいます。

大人の手を握り払って走り出したことが
“誤った成功体験”となってしまう、ますま
す手を繋いでくれなくなってしまう場合が
あります。

子どもが走り回っていても、“しつけ”では
解決できないこともあり、ご家族の中には
子どもの子育てに悩んでいる人もいます。

このような光景をまちで見掛けたら、
危険なところに行かないように注意なが
らそっと見守ってください。

また、子どもの行動など子育てにお悩みの
人は気軽にひまわり発達相談センターに
相談してください。

▲ 広報習志野(令和5年8月15日号)

ひまわり
保育士の
ひとりごと

図 ひまわり発達相談センター
☎047(451)2922

大きな声の子ども編

公共の場所で大きな声を出しているお子
さんを見かけて、「あの子どもどうしたのかな？」
「親は何で注意しないのかな？」と思ったこ
とはありませんか？

大きな声を出しているお子さんの体が大き
いと「少し怖いな」と感じることもあると思
います。

でも、大きな声を出しているのにも理由
があるのかもしれません。

例えば、楽しい気持ちや不安な気持ちを
どう表現すればいいのか分からない、耳が
聞こえにくい、声の大きさを調節できない
等といった理由で大きな声を出してしまう
お子さんがいます。

また、周りの人のイライラやドキドキを敏
感に察知して、気持ちが高揚したり不安に
なったりして大きい声を出してしまうお子
さんもあります。

必ずしも、その子が「わがまま」や「怒っ
ている」わけではなく、お父さんお母さんが
「何もしていない」「甘やかしている」とは限
りません。

まちで大きな声を出しているお子さんを見
つけた時に、「何か理由があるのかも？」
という視点を持って、あたたかく見守ってあ
げてください。

▲ 広報習志野(令和5年10月15日号)

ひまわり
心理判定員の
ひとりごと

図 ひまわり発達相談センター
☎047(451)2922

チェック、ご存じですか？

例えばバスの中…急に
動いたり突然声を出す人
が隣に座っていたら驚くか
もしれません。

チェックとは、自分の意思
とは関係なく、まばたき、
首振り、しかめっ面などの身体の動き(運動チック)
や、「アッアッ」等の声や独り言(音声チック)が繰り返
される症状です。一部の子どもの一時的に見られ
ますが、大半は自然になくなります。しかし、多種類
の運動チックと音声チックが1年以上続く場合は
トゥレット症と呼び、成人になっても継続すること
があります。汚い言葉や言ってはいけないことを
言ってしまう、身体を傷付けてしまう等の症状に苦
しむ人もいます。我慢できるのではないかという印
象を受けるかもしれませんが、チックは自分の意思
で止めることはできません。このことが心の片隅に
あれば、「好奇の目で見られる」「心ない言葉を浴び
せられる」等といった当事者や家
族の深刻な苦しみに少しだけ
も寄り添えるかもしれません。

バックナンバー(解説付き)を
順次掲載中▶

▲ 広報習志野(令和6年1月15日号)